MES-CG18-450-10

＊＊２０２２年１１月（第７版）
＊２０２２年 ３ 月（第６版）

製造販売届出番号：13B1X00306N10271

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　汎用電動式手術台　（36867020）

特定保守管理医療機器

電動油圧手術台　ＭＯＴ－５６０２ＢＷ

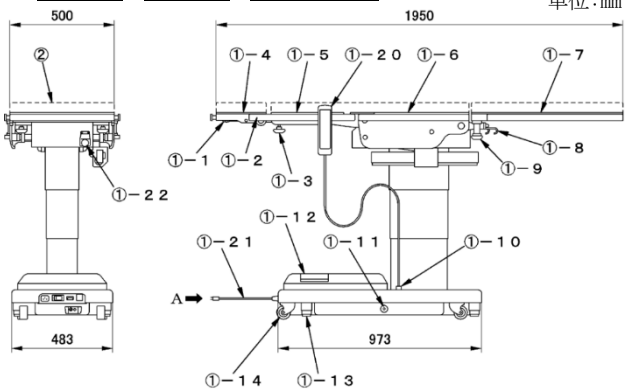
＊ 【警告】
＜使用方法＞
１．患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、又はアクセサリーで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
２．他社製アクセサリー等を取り付けて使用する時は、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

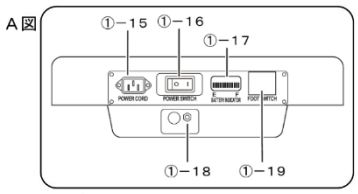
＊＊＊ 【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
１．手術台の移動及び設置
1-1 凹凸のある床面に設置しないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除しないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
1-4 着脱可能箇所（【形状・構造及び原理等】６．機能を参照）を引いて手術台を移動しないこと。[落下して破損又はけがをするおそれがあります。]
２．電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]
３．テーブルトップの手動操作部
3-1 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないこと。
[転倒又は破損するおそれがあります。]
3-2 患者を手術台から移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。
[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]
４．手術台に患者を乗せるとき
頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[転倒又は脚板が破損するおそれがあります。]

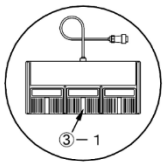
＊＊【形状・構造及び原理等】
＊ １．外観図

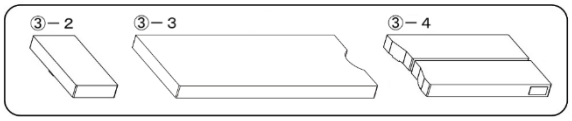
①手術台　②付属品　③オプション

単位：mm









①-1	頭部板屈折レバー	①-13	ブレーキ
①-2	サイドレール	①-14	キャスター
①-3	頭部板固定ハンドル	①-15	電源コネクタ
①-4	頭部板	①-16	電源スイッチ
①-5	背板	①-17	バッテリーインジケータ
①-6	腰板	①-18	等電位化端子
①-7	脚板	①-19	フットスイッチコネクタ
①-8	脚板屈折レバー	①-20	操作ボックス
①-9	脚板固定ハンドル	①-21	電源コード
①-10	操作ボックスコネクタ	①-22	緊急停止スイッチ
①-11	非常用ブレーキ解除ハンドル	②	マットレス
		③-1	フットスイッチ
①-12	予備スイッチ	③-2～4	マットレス

注１：番号は１．外観図の番号に対応
注２：テーブルトップとは①-4～7 の総称

取扱説明書を必ずご参照ください。

商品コード	商品名	構成
18-450-10	ＭＯＴ－５６０２ＢＷ	①、②
18-045-01	電源コード １．(4.5m)	①-21
18-443-20	3501,6300,5602 シリーズ用フットスイッチ（国内・アジア仕様）	③- 1
18-042-01	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス頭部板　タイプＡ	③- 2
18-042-44	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス背板・腰板　タイプＣ	③- 3
18-042-53	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレスダブル脚板　タイプＢ	③- 4

２．　質量

本体：323 kg

３．　電気的定格

定格電源電圧　　：AC100-240V
定格電源周波数　　：50-60Hz
消費電力　　：400VA
バッテリー電源電圧　　：DC24V
バッテリー連続作動時間：充電満了後､約 60 分（注）
バッテリー充電時間　　：最長 24 時間（注）
注：使用条件により変わります。

４．　機器の分類（JIS T 0601-1:2017）

電撃に対する保護の形式による分類　　：クラスＩ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
水の有害な侵入に対する保護の程度の分類　：ＩＰＸ４
本機はＥＭＣ規格 JIS T 0601-1-2：2018 に適合

５．　使用環境

周囲温度範囲　：10℃～40℃
相対湿度範囲　：30％～75％
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

６．　機能

電動

① 昇降範囲	最高位	：1000 ㎜
	最低位	：520 ㎜
② 縦転角度	頭上がり	：25°
	頭下がり	：25°
③ 横転角度	右下がり	：20°
	左下がり	：20°
④ 背板屈折角度	上がり	：90°
	下がり	：40°
⑤ スライド量	頭方向	：220 ㎜
	脚方向	：310 ㎜
⑥ ブレーキ	固定／解除	
⑦ フレックス	フレックス／リフレックス	
⑧ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／フレックス	
⑨ 操作機器	操作ボックス／予備スイッチ／緊急停止スイッチ／フットスイッチ（オプション）	

手動

① 頭部板屈折角度	上がり	：60°
	下がり	：90°
② 脚板屈折角度	下がり	：90°
③ 脚板展開角度	左右	：各 90°
④ 着脱可能箇所	頭部板／脚板（左右）	
⑤ その他の手動機能	非常用ブレーキ解除ハンドル	

７．　作動原理

本機は電動油圧手術台であり、電気的に制御するポンプモーター・バルブ及びシリンダー・オイルタンク等の油圧機器で構成されています。
操作ボックスを操作するとポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油がバルブを介してシリンダーへ送られます。シリンダーへ送られた作動油の圧力によりシリンダーが伸縮し、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動することで、手術台の機能が作動します。
シリンダーの作動が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動は停止します。

＊＊【使用目的又は効果】

手術が必要な部位の大部分に適応するよう改良された完全移動型手術台（汎用）であり、コンセント電源式・電池電源式の併用式のものである。

＊＊【使用方法等】

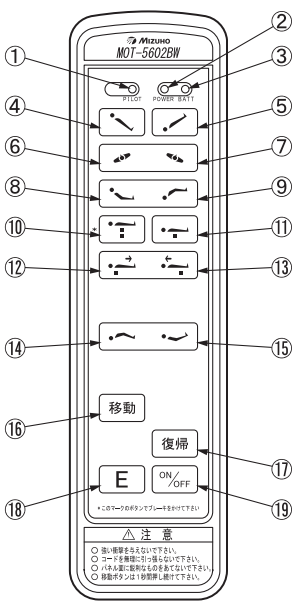
詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

１．　電源の入れかた（使用前）

1-1 電源コードを手術台本体の電源コネクタと手術室の医用コンセントに差し込みます。
1-2 手術台本体の電源スイッチを ON にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが点灯します。
1-3 操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が点灯して電源が入ります。
注：消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は､電源を入れてください。

２．　操作ボックスの使い方（使用中）

Ｅスイッチを押しながら機能スイッチを押すことで、各機能が作動します。スイッチを押している間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると停止します。



① パイロットランプ
② パワーランプ
③ バッテリーランプ
④ 縦転　　：頭上がり
⑤ 縦転　　：頭下がり
⑥ 横転　　：左下がり
⑦ 横転　　：右下がり
⑧ 背板屈折　　：上がり
⑨ 背板屈折　　：下がり
⑩ 昇降　　：上昇（手術台固定）
⑪ 昇降　　：下降
⑫ スライド　　：脚方向
⑬ スライド　　：頭方向
⑭ フレックス
⑮ リフレックス
⑯ ブレーキ解除
⑰ 水平復帰
⑱ E スイッチ
⑲ 電源 ON/OFF スイッチ

３．　電源の切りかた（使用後）

3-1 電源が入っている状態で､操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が消灯します。
3-2 手術台本体の電源スイッチを OFF にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが消灯して電源が切れます。

取扱説明書を必ずご参照ください。

4．　バッテリー充電のしかた

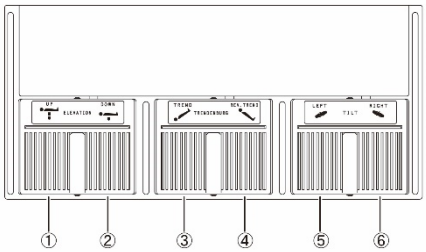
4-1 電源コードを手術台本体の電源コネクタと手術室の医用コンセントに差し込みます。

4-2 電源スイッチを入れると充電が始まります。充電中はバッテリーインジケータ（橙）が順に点灯します。

4-3 バッテリーインジケータの橙と緑が順に点灯すると充電は完了です。

5．　フットスイッチの使い方（オプション）

機能スイッチを押す（踏む）ことで、各機能が作動します。スイッチを押している（踏んでいる）間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。



① 昇降：上昇　③ 縦転：頭下がり　⑤ 横転：左下がり
② 昇降：下降　④ 縦転：頭上がり　⑥ 横転：右下がり

＊＊【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

重要な基本的注意

① 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に障害がおきるおそれがあります。

② 機器やアクセサリーを併用するときは、当該機器の添付文書及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用方法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリーに悪影響を及ぼします。

③ 衛生のため、患者が手術台に触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。

④ 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。

⑤ 手術台の操作中や屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

⑥ 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で手術台を作動させないでください。転倒・けがのおそれがあります。

⑦ 非常用ブレーキ解除ハンドルをUNLOCKからLOCKに戻したら、ブレーキ解除操作をしてください。ブレーキ解除操作をせずに手術台を作動させると、ブレーキが解除された状態で手術台が作動するため、転倒・けがのおそれがあります。

⑧ 操作ボックスのバッテリーランプが点滅している場合、又は手術台下部のバッテリーインジケータの赤が点灯している場合は、直ちに充電してください。

充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリー電源でのご使用はできなくなります。

⑨ 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週１回充電（週末の充電）を行ってください。

充電満了まで最長で 24 時間程度掛かります。

＊【保管方法及び有効期間等】

1．　保管方法

周囲温度範囲　：－10℃～50℃
相対湿度範囲　：10％～85％（結露なし）
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

2．　耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10 年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注 耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品（マットレスも含む）の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

＊＊【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施してください。

1．　使用前の点検事項

① マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。

② テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損がないか。

③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

④ 電源コード及び電源プラグ
電源コード導線の露出又は電源プラグの破損がないか。

⑤ バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。

⑥ 電源スイッチ
電源スイッチを ON にして、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。

⑦ 操作ボックス・フットスイッチ（オプション）及び予備スイッチ
操作ボックスのスイッチ、フットスイッチ（オプション）及び予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。

⑧ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2．　使用後の点検事項

① マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。

② テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損又は汚れがないか。

③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

3．　清掃・消毒の手順

3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

3-2 使用する消毒剤の表示又は取扱説明書の内容を確認してください。

3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭してください。

4．　故障時のお願い

本装置が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

4-2 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

＜業者による保守点検事項＞

本装置を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年１回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。
定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

＜定期交換部品＞

部　品　名	交換時期(注)
バッテリー	２年
操作ボックス	４～６年
キャスター	５～７年
ブレーキゴム	３～５年
電源コード	５～７年

注: 上記は目安の期間です。
使用条件により交換時期が変わります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

保証期間に係る事項

本品は納品/設置してから 1 年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。